



曼珠院門跡
春の特別公開

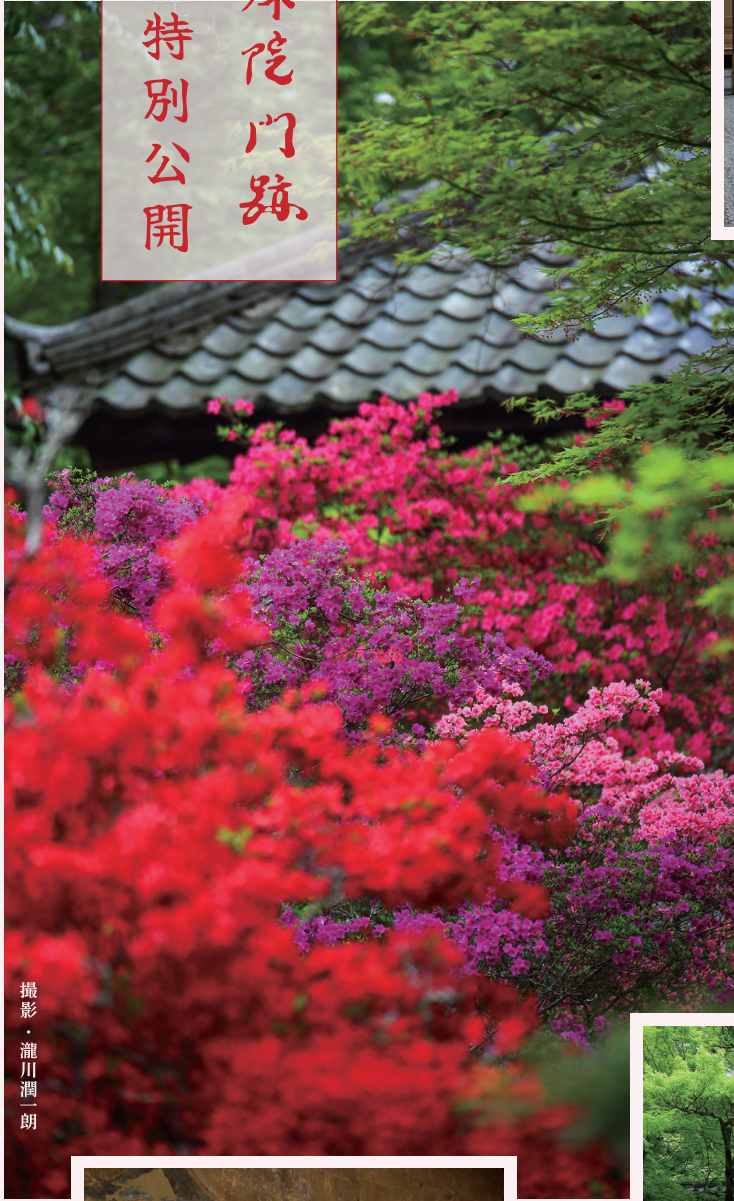


曼殊院の

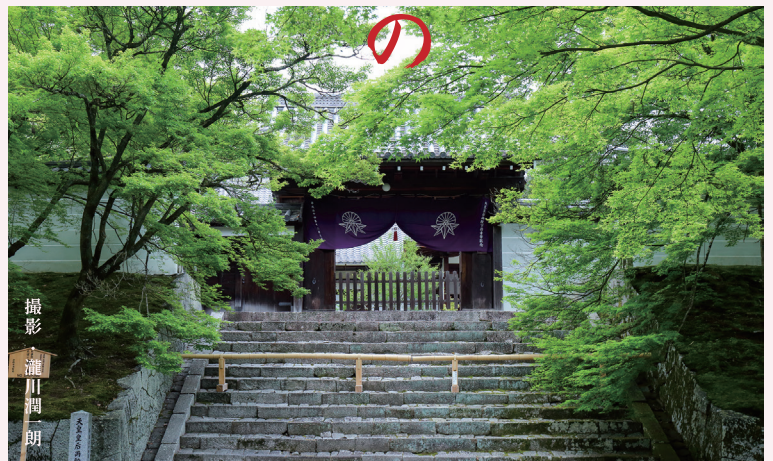
静寂に包まれ、

キリシマツツジ

美を堪能する



撮影・瀧川潤一朗



撮影・瀧川潤一朗



主催…曼殊院門跡

協力…まると美術館

開催日程

4.27 - 5.18

拝観時間

9:30 ~ 17:00 (最終受付 16:30)

拝観料

800円

曼殊院門跡



撮影・瀧川潤一朗



延暦年間(728～806)、宗祖伝教大師最澄により、鎮護国家の道場として比叡の地に創建されたのが曼殊院のはじまりである。

その後、天曆年間(947～957)是算国師のとき北野天満宮が造営されると、是算国師が菅原家の出生であったことから、初代別当職に補され、以後明治維新まで900年間曼殊院は北野別当職を歴任した。天仁年間に北野天満宮管理のため北山に別院を建立。その後御所内公家町に移転し、明暦二年(1656)になり、桂離宮を創始された、八条宮智仁親王の第二皇子良尚法親王が入寺され、現在の地に堂宇を移し造営されたのが今日の曼殊院である。

良尚法親王は後陽成天皇の甥、後水尾天皇は従兄弟にあたる。曼殊院造営については、桂離宮を完成させたといわれる兄智忠親王のアドバイスを受けて建設され、桂離宮同様当時ヨーロッパで大流行した黄金分割が採用されている。曼殊院の瀟洒で、軽快な大書院・小書院は「桂離宮の新御殿」や「西本願寺の黒書院」と並んで数奇屋風書院の代表的な遺構とされている。

「わび」...質素なもの、貧相なもの、不足の中に心の充足を見出そうとする意識
「さび」...静かでさびしさの中に奥深いもの、豊かさを感じること

醜い中にも美しさを 卑しい中にも尊さを

貧しい中にも豊かさを まづい中にも美味しさを 苦しい中にも楽しさを



交通案内

住所 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 42

市営バス 「一乗寺清水町」下車...徒歩約 20 分

叡山電鉄 「修学院」駅下車...徒歩約 20 分

タクシー 地下鉄「国際会館」駅より約 8 分

駐車場 50 台無料 (普通車のみ)

お問い合わせ

電話 075-781-5010

HP manshuinmonzeki.jp

